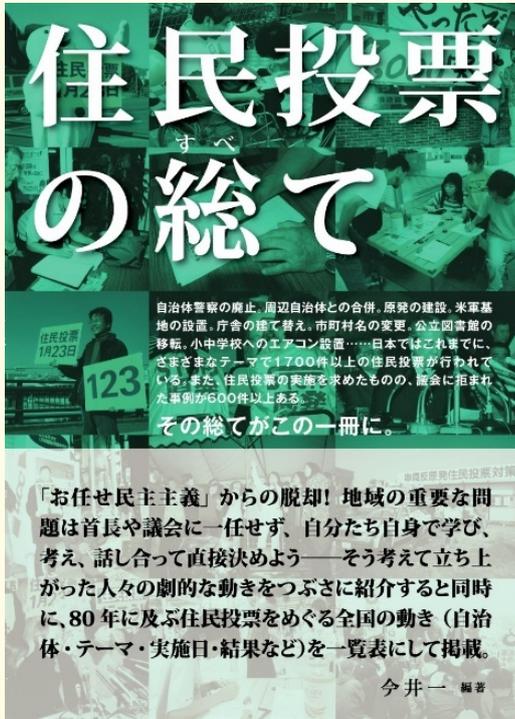


『住民投票の総て』

刊行のためのクラウドファンディングを行なっています



〔国民投票／住民投票〕情報室は、学者、弁護士、議員、ジャーナリストなど多様な人々で構成されている市民グループです。2006年の結成以来、国民投票・住民投票に関わる情報の収集・発信やこの制度への理解を深めてもらうためのセミナーの開催、あるいは国民投票・住民投票の実現をめざす人々への協力、制度改革のための立法府への提言など、私たちはさまざまな活動を展開してきました。

そして、そうした活動は沖縄県民投票、徳島市民投票をはじめ各地の住民投票運動に少なからぬ影響を及ぼしています。そんな活動の集大成ともいえる書籍『**住民投票の総て**』を2020年9月に刊行します。直接民主制を研究する学者・学生はもちろんのこと《市民自治》に関心を持ちそれを追求する人々(主権者)にとって『**住民投票の総て**』は必読の書になると確信しています。

現在、この書籍の刊行(組版・校正・印刷・製本)に要する資金を確保するためにクラウドファンディングでの支援者を募っています。

▪ [Readyfor] [CAMPFIRE] といったプラットフォーム業者は介さず、〔国民投票／住民投票〕情報室が直接御支援を受け付けます。

▪ 本の仕様は [A5 版 440 頁 + 別冊電子版 100 頁]。

▪ 目次・内容については「情報室」のウェブサイトに掲示しているリーフレットを御覧ください。

▪ 募集締め切りは2020年8月20日。

▪ 獲得目標は150万円。刊行(組版・校正・印刷・製本)および宣伝にかかる経費だけで約300万円かかります。これには、20数年におよぶ調査、取材に要した経費や原稿料(600万円ほど)は含まれていません。

▪ 初版の刷り部数は700冊で、販売するのは420冊のみ。あとの280冊は調査、執筆などに関わったスタッフへの報酬(要するに現物支給)として、あるいは取材に応じてくださった方々など協力者への謝礼としてお渡しする分です。

なお、現在144冊の購入予約が入っていますので販売可能な数は276冊です(7月14日現在)。

「支援とリターン」の内容については、別紙に掲示していますので御覧ください。

支援とリターン

[X] 5,000 円 [50 人まで] 『住民投票の総て』（税抜き 5,200 円）を 1 冊進呈します。

[A] 7,500 円 [50 人まで] 『住民投票の総て』を 1 冊進呈。加えて本の巻末の [支援者一覧] にお名前を記します。

[B] 7,500 円 [50 人まで] 『住民投票の総て』を 1 冊進呈。加えて、2020 年中に東京・静岡・滋賀・大阪などで開催する編著者らによる刊行記念の講演会に無料御招待します。

[C] 10,000 円 [30 人まで] 上記 [A] [B] に加えて、1949 年 7 月実施の広島市民投票から 2019 年 2 月実施の沖縄県民投票まで、全国で行われた住民投票時の投票用紙や賛否両派のチラシ、ポスターなどの写しを数点、お届けする本に添えます。

[D] 15,000 円 [20 人まで] 上記 [C] のリターンに加えて、第 3 章「ルポルタージュ住民投票」に登場する柳川喜郎さん、元山仁士郎さん、村西俊雄さん、島田清作さんら数人の直筆サインをお届けする本に刻みます。

[E] 30,000 円 [10 人まで] 本の巻末の [支援者一覧] にお名前を記します。そして『住民投票の総て』を 7 冊お届けします。お友達にプレゼントしていただいてもいいし、販売して下さってもかまいません。

[F] 30,000 円 [10 人まで] 『住民投票の総て』をテキストにして編著者が講師を務める学習会などを催すことができます。規模や参加費に関しては自由にどうぞ。編著者には開催日当日に交通費のみ渡していただければ OK です。

▪ 振込み先

三菱 UFJ 銀行 東大阪支店 普通 1355400 [国民投票／住民投票] 情報室

ゆうちょ銀行 ATM 電信振替・通常払込：00920-4-263946 [国民投票／住民投票] 情報室

※共に「ネットバンク」で振り込むことができます。

▪ 御手数料をかけますが、振込み完了後に [お名前・電話番号・振込み金融機関と振込み日] そして [X] ~ [F] のうち、どのリターンを選択されたかを明記の上、下記あてに送信して下さい。

Eメールは info.ref.jp@gmail.com

FAX なら 06-6751-7345 へ

※本のお届けにかかる郵送料は当方で負担しますが、振込手数料は御負担ください。

なにとぞ宜しくお願い申し上げます。